

高校生ボランティア講習会



〔講習スタート!〕



〔学んだことはメモ!〕



〔火起こし体験で大苦戦!?!〕



〔2人で協力!〕



〔美味しいカレーにしたいよね〕



〔皮むきは丁寧に…〕



〔皆で仲良く「いただきます」〕



〔洗い物までが研修です〕

【支配人コメント】

高校生を対象としたボランティア講習会は、本所企画事業では初めてとなる事業でありましたが、とても意義のある事業であったと思います。講義や実習内容は、参加した高校生のニーズと合致し、全員が真剣に取り組んでいました。特に、野外炊飯活動では、他校同士で編成された班のなかで薪割りや調理などの役割を決め、お互いに協力し合いながら「ポークカレー作り」に挑戦し、美味しいカレーが完成しました。

ボランティアの意味や心構えを学び、様々なボランティア活動の「かたち」を知ったことにより、一人一人が大きく成長した時間であったと思います。

今回参加いただいた、高校生の皆さんの益々のご活躍をお祈りすると共に、今年度飯豊少年自然の家で企画している様々な事業へ、ボランティアとして参加いただけることを期待しています。

最後になりましたが、今回の企画事業において講師を務めていただいた「置賜教育事務所 社会教育課 社会教育主事 秋山憲司 様」、「飯豊少年自然の家ホームリーダー 竹田 紗英 様」、誠にありがとうございました。

【参加者からの主なコメント（一部抜粋）】

- 今回の講話で、ボランティアをすることで人とのつながりを増やすことができ、新しい自分を見つけ、知ることが出来ると学び、一日を通してそのことを実感することができました。
- ボランティアを通じて様々な人と心を通い合わせることができたのが嬉しかったです。生まれ育った地や環境が違って、みんなと仲良くなれたのが嬉しかったです。
- ボランティアとは何か、何のためにするのか本質を捉えることが出来たと思います。自然と触れ合いながら様々なことを行ったのは小学生以来だったので、本当に楽しかったです。ボランティアを通じて、人とのつながり、関わりをもつことを感じました。人のために何かをすることは、お互いが満足感を得られる凄いことだと思いました。また機会があったら是非参加したいです。ありがとうございました。
- 講師の秋山先生も紗英さんもどちらも知っている人でした。身近な人が今までどんな経験をしてきたか、中々知ることがなかったのでこの機会に聞いて私も頑張ろうと思いました。今年は受験で少し忙しいので、来年ホームリーダーとして活動したいと考えました。来年待っててください。
- 自分の手で火を起したり、野菜を切ったり、皿を洗ったりなど、一つ一つの作業がとても大変でした。しかし、班の人と一緒に声を掛け合って活動することで、距離を縮め合えることを実感するこ

とができました。また、他の高校の方とも中を深めることができ、とても充実した1日を過ごすことができたので良かったです。またこういう機会があったら参加したいです。

○私は、ボランティアとは人を助けることというだけの意味だと思っていましたが、今回の講話を聴いて、ボランティアの意味や4つの原則、何に役立つか、自分にはどう影響するのかなどを学ぶことが出来ました。ボランティアは思いやりを学ぶだけではなく、自主性、社会性、無償性、創造性を育てることができ、自分と相手をよりよくするものだと感じました。これからは自主的にボランティアに参加していきたいです。

○「ボランティアは自分を知るきっかけになる」という言葉が印象に残りました。実際に今日のボランティアで、自分は誰かの役に立つことが好きなんだということに気づくことができました。いろんな講演をお聞きしていると、”人との関りの大切さ”についてお話されている方が多いと感じていて、実際に今日、話したことのない人とも関わることができ、もっとたくさんの人と関わっていきたいと感じました。